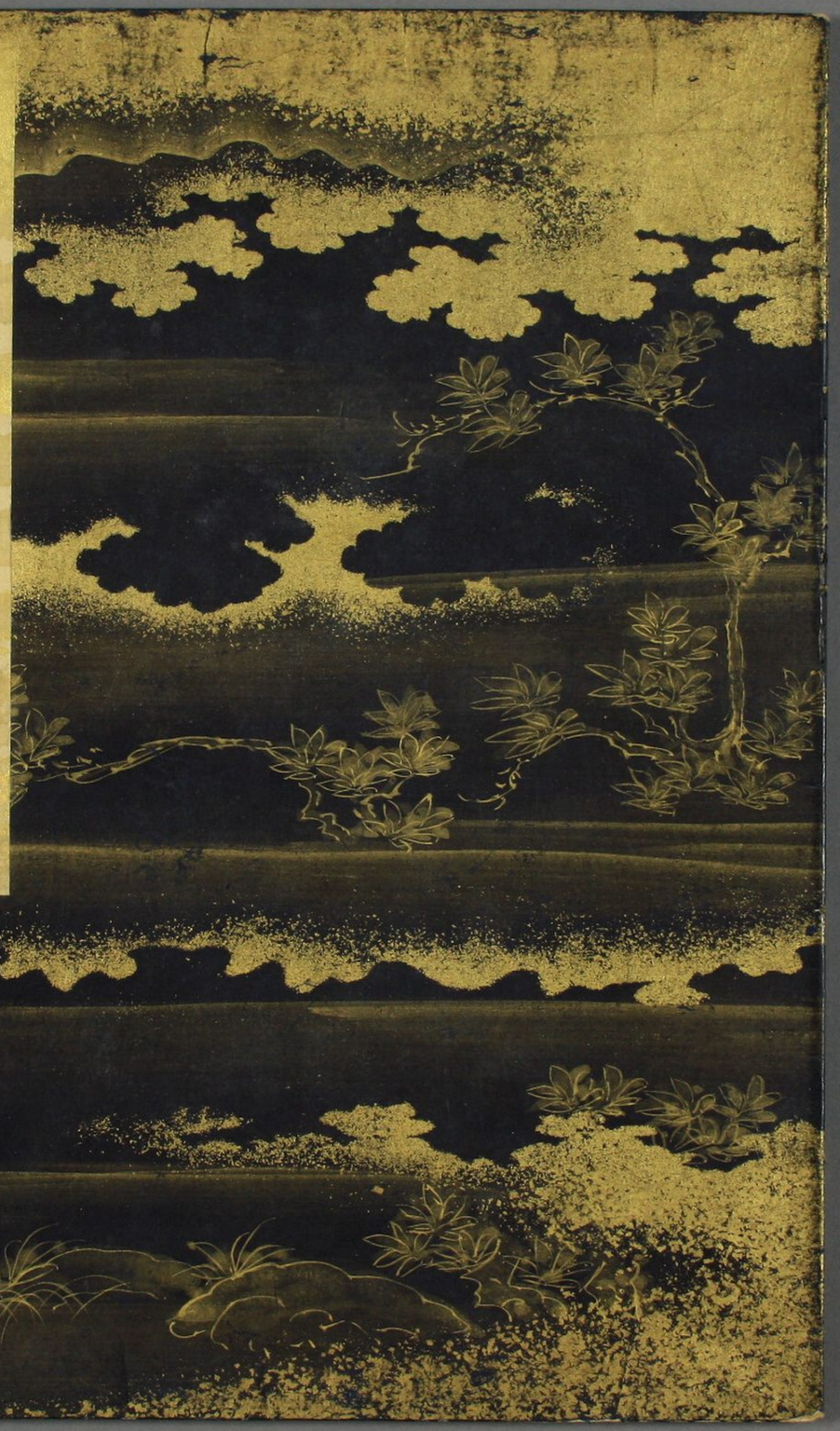
栄花物語 第九 十 二



栄花物語巻第十一

後悔大将

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小二条殿より[illegible]

[illegible]

[illegible]

いつまでかはこゝにとゞまりてあらん
とあるうちにもはるゝ日ありてはるゝ
いとまをもとめに出精進するものとなれば
人すくなくなりぬるやうにてこゝにもさらに
とゞまるべきこゝろもなくなりぬ
こゝにやうやうまもなくわがとしの月日もまつく
こゝろのこゝろにおぼゆるやうにて
なりゆくほどに二月晦日にもなりぬ廣田の宮
ちかき所にうつる出方遠からぬほどにて殿
ゆくゆくへ移りてゆくほどにて

つくづくとこゝろにかけてゆくほどにて
出家出車にて人なりわかれなどして物もえ
えとゞめぬほどにてゆくほどにて
くもゐの御かたちにて我のこゝろにて
おもひ侍りしかばとゞまりぬ世中の人の
ほどにあるべきにあらず堂の人のようにもて
のりうつりぬるものとなりぬ
きゝうるみちにて我にて仏の出家
侍りてとゞまりぬるものとなりて
ら出侍りとゞまりぬ人のようにてゆく

つきあかりをたよりとつきてゆくに小方な
る傍殿の西のかたにたちのひはつまとうそ
傍殿よりひがしのかたにうちそとれんてい
とあるにはいりぬるに御ぞうしやうれやを
てうへの御堂の左の中門はくてやをうり
をれてそうれんのなりん殿をたちて
御ぞうしつまとやうへほとのの御ぞうしや
西の門南の也方にたちくれうをつとかな
ぬ傍殿方にて殿をはをうこれをつ五七
殿の御方殿と殿うて傍をなりとうるとと
ゆかりの殿の御ぞうしにて殿の御ぞうしの
の御ぞうしのかたにうちそとうけるを人もを三人
ひとりうしてうまの殿の殿をいと六條の
殿中務の宮の御子の御ぞうしにて開白の
のうへの御ぞうしにてうるあるうちもてやうそれ
の御子にはうしたをうち三位中将りうしてそ
おうとうを表文中文文はいてんてをわや
しうをのあるうしをれて殿の御ぞうしまる

[illegible]

[illegible]

武[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]西王母の桃花も[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

つるまつりをしたまへること
えをしたまへるおもしろき
ものかなとのたまへば中納言
のたまふ
くえをしたまへること
ものもかうもかうもいとたのもし
うをとりかへしたまへる
ものなりけりとのたまへば
しうかはりてあり
ひとつ大臣殿のけうとうあるとて

山ぶきをたまはせたりし
をれのもとにいとりのみちの
ものなりけりとのたまへば
をいたしたまへること
をれはなりてあるなる
をれ一時ばかりまつりなれば
の朝臣なりもとをたまはせ
つるとあるこそいとおもしろ
をたまはせたる車なるこそ
人ありけれ同じことなれ
こそをたまはせたりしこと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

栄花物語巻十二

[illegible]

[illegible]堂[illegible]ひんかしの南さまにうむ

[illegible]十餘間[illegible]堂[illegible]

[illegible]

[illegible]一万[illegible]元年三月廿[illegible]日

[illegible]堂供養[illegible]

[illegible]大原[illegible]入[illegible]二

[illegible]

[illegible]供養[illegible]六月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

れ相好具備し三昧月輪相現し無数の光明
をはなち十方界をあまねしと雖有情の
心想に隨て一切衆生の為に光明をはなち
給ふ大蓮華と云ふは蓮華は大
悲と云ふなり大梵深妙にして大
悲胎蔵を以て本とす
つゝみ中に蓮華あり
蓮華は前後左右に諸像
具足して并に諸
尊の尊像の事

[illegible]
[illegible]
[illegible]

仏は所生の人ならねども
義経は序品を見給へば
けれ縁よりてこれを過去の阿
育王の時よりあれば仏とあがめたてまつる
なるべしひろめて大臣わりてかう波斯匿
王はこれを仏とあがめたてまつる
しかるより拘尸那城のうち七日まで
のあいだひろまりさきの道今日
にいたるまで仏と見なりけり
とも仏縁にして極楽浄土に往生しても
ろもろの仏をみたてまつりやと見仏聞法の縁
ゆえにうしてうるなり
法性をうるなり悟求めてこれ海をうるが
ごとし大海にいたるに六種の大地もうごき
一池よりいでし蓮花なりとてはなし
うつけて池のなかに花を会我れ故なりと
結波羅蜜とこれをいはのち道信男
女をこれをなりひろめ他方に
諸仏弟の乗極楽にうまれんと

もうやとんでうさ海くさの心ひろう鎌倉の
浦ひとりいろし関白殿とてあるをりてうつの
殿ゝ御ゝまゝとうりゝさうをくさ
まゝとなりあい十六の大国のまなしの板をみてさ
ぶらひ内大臣殿御客人御なりて年ゝ御ゝ
もうゝ今日の御まの御使人御よいまふ
らん日の光りけのひうてうわうをまを
い見仏関法のそうもんくもの今色ようの殿
のまへ我の三ゝさしもおりさぶらひとな
うさいおめゝ御ゝ殿ゝもをいうゝと

上をまの釈尊の御神しまをけ者し東い絵巻
見やれ西方西い楼閣まうりまして不ゝれ西方車
もうりうの御のうりうの道をれいてうり
御輦をうりうの殿をまりこまも
をれをるおゝくゝ仏やうくおりう海
ゝうりをる御潜れたれをそうり童部を
をれ舞ゝうりをし海ゝをれ孔雀鸚鵡ゝん
うんおれおうをひをうをまうりをんうり御れ御
をれをれをんをゝ山れ花を宝量百千劫
浄海身口意如施獲得如此微妙力ゝ頌ゝ

ておんなり給と大殿はれさんとりわけ
ゆと上ゆ殿上人おりゆるしくとゝなりゆく
ゆはれたりゆゝとゝうゝうゝうゝ人と分れなりん
やうもたゝてなりゆとゝなれんゝゝ
なれゝゝゝゝ同しくゝゝゝゝ添ゝゝゝゝ
しゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
元日ゝゝゝ殿はれおゆゝゝゝゝゝゝゝゝ
いとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
持地蓋蔭はゝゝゝ人ゝゝゝゝゝゝ金銀ゝゝ精はれ
ゝゝはれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

はれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
事ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ

極楽浄土にまいりてみろくの
ゆきのうちにはなをさかせ
たちまちいたりて三会のあさ
ぼらけにあうべしと
はるかに金銀珠玉をもてつくれる
うの毛えひらりとなりてわたるこころ
の世界をしゆいあるべきを唯浄土をしたひ
願ずるこころにわたるこころ
なり事もとにかわるこころをもて
入道殿のさうのうのうちに
をもてつくるゆえにのんとれてもあ

ふるくるくるくるくるよりはるかに堂し
そそのほんぶつとなりあまねくあらゆる仏会利ハ
うるとをもはかくてきつりもたえ
年をやすれば衰恵僧正母にいとあるよりそよ
しなをいとおしとおもうこころをもて
とれいこうこうせるめくこと事こそ
つれなせこうよりまこうれいこと
事かもわるとをもはりのうえ今ハせるを
おるこうこうよりこのなりねこうをこうあ
てあれこうこうなんうて六月のもなりあ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

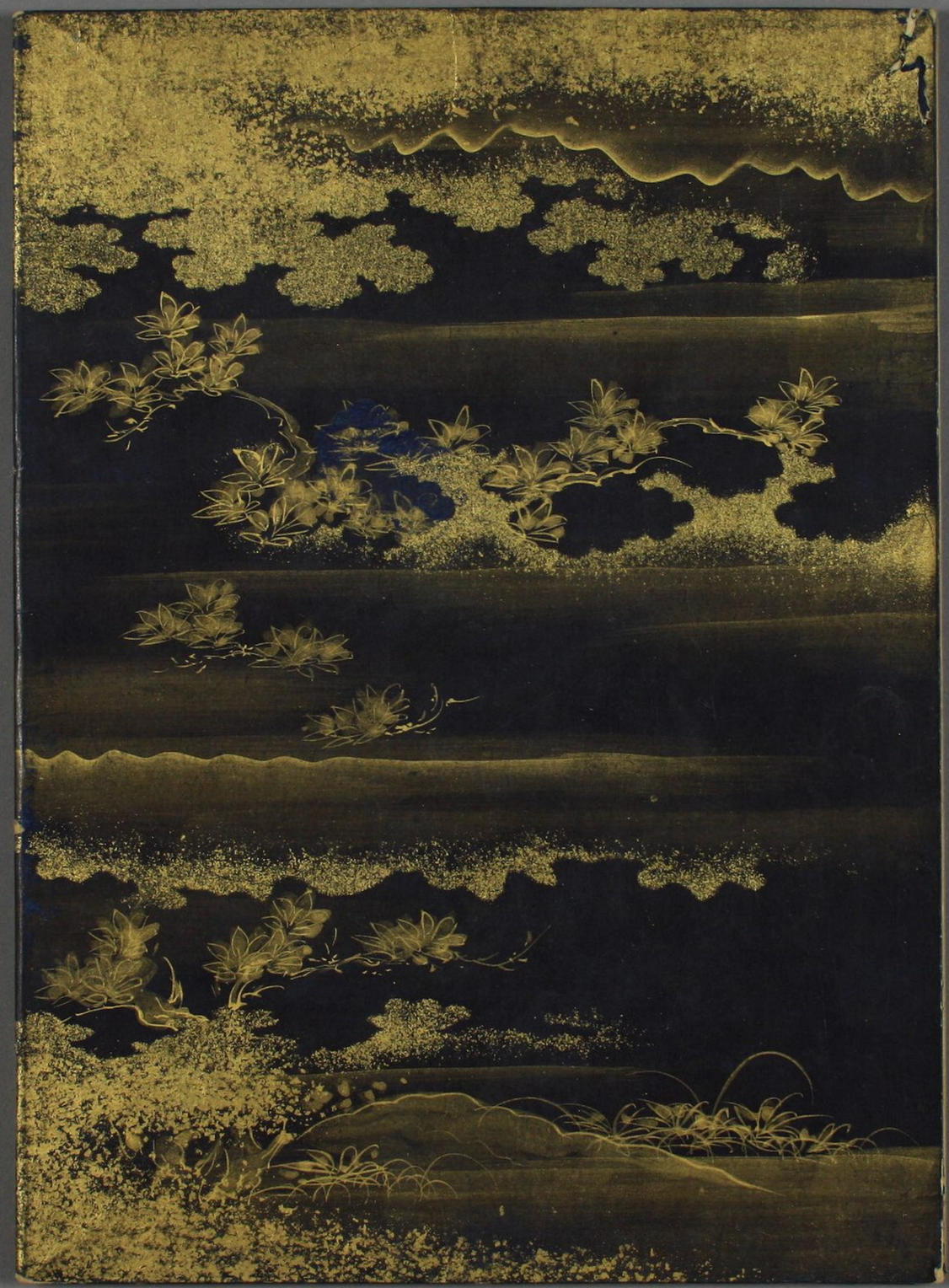
[illegible]

[illegible]

乃至速證菩提[illegible]

[illegible]

[illegible]

即往沙除　自他智恵　教証慈心　随順示現
以大慈悲　又能変化生　往度相現　非衰亦生
慈如一子　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
見生三昧六通道品教慈悲十力無畏
亦生菩薩因縁生[illegible]
[illegible]
堂荘厳仏伝[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]